



# 議会だより

## No.136

2022.1.17 発行



### 今号の写真

### 寅年生まれのみなさんです

#### 表紙 寅年生まれのみなさん

- 定例会：補正、主な事業 …… P2
- 定例会：議案リスト、質疑 …… P3
- 新年あいさつ、臨時会 (11/24) … P4
- 総務建設産業常任委員会審査報告 … P5
- 教育民生観光常任委員会審査報告 … P6
- 特集 …… P7～P9
- 一般質問 (9名) …… P10～P18
- わたしのひとこと (2名) …… P19

裏表紙 東飯田、南山田地区の写真  
編集後記



12月  
定例会

# 一般会計 特別会計補正予算

原案  
可決

令和3年第4回定例会12月議会が開催され、補正予算8件のほか、議案7件、発議3件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

## 令和3年度一般会計補正予算(第9号)

補正前予算額	83億6,476万1千円
補正額	1億5,536万8千円
補正後予算額	85億2,012万9千円

### ◎補正予算●主な内容

**歳入**

- 地方交付税……………3億4,926万3千円
- 商工使用料(大吊橋使用料)……△3,007万円
- 教育費国庫補助金(淮園小改善交付金)  
……………2,337万6千円
- 災害復旧費国庫補助金(公共土木施設災害復旧費補助金)  
……………1億6,028万4千円
- 一般寄付金(まちづくり寄付金)……1,500万円
- 基金繰入金……………△2億4,487万7千円
- 町債……………△1億398万6千円

**歳出**

- 農林水産業費  
集落孤立防止、里山整備業務委託  
……………△1,055万6千円
- 災害復旧費  
工事請負費……………2億500万円  
土砂災害委託……………△1,515万円

### ◎特別会計補正予算

●国民健康保険特別会計	県補助金確定	補正額	4,057万1千円	総額	14億9,685万9千円
●水道特別会計	旅費等区分入れ替え	増減なし		総額	1億2,958万5千円
●飯田高原診療所特別会計	報酬等区分入れ替え	増減なし		総額	7,390万8千円
●介護保険特別会計	国庫補助金確定	補正額	△5万円	総額	15億6,396万6千円
●後期高齢者医療特別会計	広域連合納付金確定	補正額	△156万6千円	総額	1億3,942万6千円

## 追加議案 令和3年度一般会計補正予算(第8号)

補正前予算額	83億 697万4千円
補正額	5,778万7千円
補正後予算額	83億6,476万1千円

### ◎補正予算●主な内容

**歳入**

- 国庫補助金  
子育て世帯臨時特別交付金……………5,778万7千円

**歳出**

- 民生費  
扶助費(子育て世帯臨時特別交付金)…5,750万円

## 追加議案 令和3年度一般会計補正予算(第10号)

補正前予算額	85億2,012万9千円
補正額	5,761万7千円
補正後予算額	85億7,774万6千円

### ◎補正予算●主な内容

**歳入**

- 国庫補助金  
子育て世帯臨時特別交付金……………5,761万7千円

**歳出**

- 民生費  
扶助費(子育て世帯臨時特別交付金)…5,750万円



## 第4回九重町議会定例会 「令和3年12月3日～12月17日」

第4回 定例会・議案一覧			
議案番号	件名	付託	結果
議案第52号	固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	総務	可決
議案第53号	九重町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例等の一部改正について	総務	可決
議案第54号	国民健康保険税条例の一部改正について	総務	可決
議案第55号	国民健康保険条例の一部改正について	教民	可決
議案第56号	令和3年度九重町一般会計補正予算（第9号）		可決
議案第57号	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		可決
議案第58号	令和3年度水道特別会計補正予算（第3号）		可決
議案第59号	令和3年度飯田高原診療所特別会計補正予算（第2号）		可決
議案第60号	令和3年度介護保険特別会計補正予算（第2号）		可決
議案第61号	令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		可決
議案第62号	九重“夢”大吊橋物産直売所の指定管理者の指定について	教民	可決
議案第63号	各種集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正について	教民	可決
議案第64号	麻生原集会所の指定管理の指定について	教民	可決
議案第65号	令和3年度九重町一般会計補正予算（第8号）		可決
議案第66号	令和3年度九重町一般会計補正予算（第10号）		可決
請願第3号	子どもたちへの新型コロナワクチン接種に関して配慮を求める請願	教民	不採択
請願第4号	「大分県主要農作物等種子条例制定を求める意見書」の提出を求める請願	総務	採択
陳情第5号	粟野本村生活改善センター改築に関する陳情書	教民	採択
発議第4号	九重町議会会議規則の一部改正について		可決
発議第5号	九重町議会委員会条例の一部改正について		可決
発議第6号	大分県主要農作物等種子条例制定を求める意見書について		可決

（注）全員一致の場合は「可決」または「否決」、「採択」または「不採択」と記しています。  
可否が分かれた場合は、各議員の意見等詳細を載せません。  
総務 || 総務建設産業常任委員会、教民 || 教育民生観光常任委員会

※上程された議案、請願、陳情については、上記のとおり可決・採択・不採択とされました。

### ※陳情の取り下げについて

令和3年4月30日に提出された陳情第3号 滝上第2橋架け替えに伴う町道の路線変更（延長）を求める陳情書は地域の情勢が変化したため令和3年11月19日付で取り下げの申し出があり、12月3日の本会議の議決により取り下げとなりました。

## 請願第3号の賛否について

請願第3号については、議決にあたり下記のように賛否が分かれました。（議長は採決には入りません）

議員名 (議席順)	佐藤 明郎	岩尾 茂樹	野上 香代子	岐部 俊哉	麻生 良典	増田 裕子	土井 眞一郎	大津留 敏加	有吉 富生	佐藤 博美
賛否	反対	反対	反対	反対	反対	賛成	反対	反対	反対	反対

### 請願可決に賛成意見

- ・どのワクチンでも万が一のことが起こらないとも限らず、今回は、特例承認のRNAワクチン。接種直後の重篤な副反応、3年後、5年後にどうい影響がでるか分からない。
- ・コロナをめぐるっては、様々な同調圧力やいじめが聞かれる。子ども達へのワクチン接種は慎重に考えてほしい。

### 請願可決に反対意見

- ・請願の意図は理解できるが、個別接種だけにすると集団接種を受けたいという選択の自由を制限してしまう。
- ・危険性の周知についても、平等性を踏まえ、同じ角度で有効性も町民に届けるべき。

※請願第3号には、①個別接種、②人権啓発（同調圧力やコロナ差別）、③危険性の周知（厚生労働省の副反応疑い報告）を要望するものでした。常任委員会での審議結果はP6に掲載してあります。

# 新年のごあいさつ

議長 菅原 美好



謹んで新年のお慶び申し上げます。

平素より町議会に対し、温かいご指導、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

一昨年からのコロナ禍ですが、町内でのワクチン接種率7割を超え、全国的に落ち着いたところですが、新たな変異種「オミクロン」が世界各国で感染拡大し、予断を許さない状況です。宿泊や飲食店等は、まだまだ厳しい状況ではないでしょうか。未知の脅威に対する人間の無力

さを感じるとともに、人々が支え合い、感謝の気持ちは何よりも大切であることを再認識したところです。

限られた財源ではありますが、町民の生活安定、福祉向上を念頭に、町民皆様の声を

一昨年の7月豪雨からの復旧・復興が思うように進まない中、特に耕地災害等は入札の不

落・不調が約半数にのぼり、もどかしさを感じているところですが、一日も早い災害復旧に執行部とともに取り組まなければなら

新しい年が素晴らしい一年になりますよう皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

多幸をお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



## ☆第4回 九重町臨時会

令和3年11月24日

第4回 臨時会提出議案一覧		
議案番号	件名	結果
報告第9号	専決処分の報告同承認を求めることについて	承認
議案第50号	令和3年度九重町一般会計補正予算（第7号）	可決
議案第51号	令和3年度水道特別会計補正予算（第2号）	可決

### 《議員からの質問》

増田裕子議員

- Q 11月8日に専決した理由の説明を。  
 A 健康福祉課長  
 12月から、先ず医療関係者へのワクチン3回目接種を予定している。必要書類の作成・発送に時間を要するため専決を行った。

麻生良典議員

- Q 3回目の接種の方針は以前から分かっており、9月定例会で予算提案できたのでは。  
 A 健康福祉課長  
 正式な国からの通達に合わせたためである。（9月22日に厚労省より事務連絡）



### 九重町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の一部改正

これまで「情報通信技術」という用語は法律上不明確であったため、法律の改正により明確な定義がなされました。

この改正に伴い用語並びに法律の改正に伴う条例中の法律規定引用部分を整理します。

### 固定資産評価審査委員会条例の一部改正

国が新型コロナウイルス感染拡大の防止、デジタル行政の実現のために、行政手続のオンライン化を目指した押印見直しを進めています。

九重町においても、行政手続における町民の負担を軽減し、町民の利便性を図ることを目的として、内閣府の基準に沿って、改正を行います。



**簡略化**



### 国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険に関する法律やその施行に関する政令が公布されました。

国民健康保険の保険税について、子ども（未就学児）に係る被保険者均等割額を減額し、その減額相当額は公費で支援されることとなります。

## 請願は採択されました

### 「大分県主要農作物等種子条例制定を求める意見書」の提出を求める請願

本請願は江藤一幸氏他10名の「タネを考える九重町有志」により提出されました。

主要農作物種子法が廃止され、大分県では主要農作物種子制度基本要綱を定めて運用している。近年の気候変動や社会情勢の変化に適切に対応するには、先行する28道県同様に条例制定により県の責務として取り組む必要がある。将来にわたり、継続的な主要農産物の生産、安定供給及び品質の確保・維持、並びに県独自の地域在来品種種子の発掘・保護・推奨の推進が可能となるように、6つの要請事項が併記された意見書である。

請願の趣旨や実現可能性について審議した結果、採択としました。

## 国民健康保険条例の一部改正

産科医療補償制度の見直しにより、掛金が現行の1万6千円から1万2千円に引き下げられたことに伴い、国民健康保険条例の出産一時金について所要の改正を行うものです。出産一時金全体としては、現行の水準を維持しています。

## 九重“夢”大吊橋物産直売所の指定管理者の指定

九重“夢”大吊橋物産直売所の指定管理期間が、令和4年3月31日をもって満了することに伴い、令和4年4月1日以降の指定管理者を指定するためのものであり、条例に基づき所定の手続きにより選定された結果として、大分県農業協同組合が指定管理者となりました。



完成間近の麻生原集会所

## 各種集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正

麻生原集会所の竣工に伴い、本条例の別表第1の各種集会所一覧表に、麻生原集会所を追加するものです。

## 麻生原集会所の指定管理者の指定

関係行政区住民の生活環境、福祉の向上等に資するものであり、指定管理者を公募することは施設の性格上なじまないことから、公募は行わず、指定管理者を任意指定するものです。

麻生原集会所管理組合が、指定管理者となりました。

## 子どもたちへの新型コロナワクチン接種に関して配慮を求める請願

子どもと未来を考える会 代表 小野みゆき氏からの「子どもたちへの新型コロナワクチン接種に関して配慮を求める請願」については、親が子どもを大切に思う願意については理解ができるものの、接種については地域が置かれている医療体制、地元の医師会との連携によるものであり、行政のみの力では成し得ないものであること、コロナ差別等の啓発については、行政にて取り組みを進めているところであり、情報提供に至っては、ワクチンの接種が強制ではなく、自由意志であることを前提とした取り組みが必要であり、副反応疑い報告の掲載については、公正な判断によるものが必要であり、不安を助長することから、不採択としました。

## 粟野本村生活改善センター改築に関する陳情

粟野本村区長 古後粒勝氏からの「粟野本村生活改善センター改築に関する陳情書」については、当該集会所は築46年を経過し、地震、相次ぐ豪雨、また老朽化により修繕ではなく、抜本的な対応が必要となっており、現地調査を行い建物の劣化は著しいことを確認し、地域の実情も鑑み、陳情の趣旨は理解できるため、採択としました。



粟野本村生活改善センター現地調査

## タイムリーな研修会でした

### 日田玖珠議員研修会

11/11



令和2年の七夕の記憶は鮮明で復旧も途上にある中、県内で豪雨による大きな災害に遭遇した日田玖珠地区で、改めて減災防災について議員の学ぶ機会を設けました。

講師は、テレビやマスコミに度々登場する大分大学の鶴成悦久教授。減災や防災に関しては県内はもとより全国的にも先鋭的に活躍されています。

大分県は平成29年以降毎年のように自然災害が

発生しています。自然災害の発生には、雨量などの気象条件だけではなく地形、地質、河川の特徴などが複雑に絡み合っていることを、データや映像を基に解説頂きました。情報量が多く即座には理解できないこともありましたが、様々な要因を基に作成されたハザードマップの重要性を再認識しました。

防災はその多くが公助でなされますが、減災では早期避難などの自助や共助に依存することも改めて確認することができました。

先生は昨年のNHK防災スクラムの中で、九重町のポイントとして

- ・浸水が同時多発、早期避難を
- ・複数の安全な避難経路を確認

この2点を挙げていたこともお知らせしておきます。

11/19

### 町村議会議員研修会

コロナのことが報道され始めて、もう2年も経ってしまいました。瞬く間に広がり、日常生活はもとより議会活動の在り方や議会での対応にも大きな影響を及ぼしました。各種情報収集する中、できるだけ住民生活への支障がないように努力してきました。

今後の議会活動を考えるにあたって、早稲田大学・崇城大学の長内紳悟先生に「ウィズコロナ・アフターコロナで議会はどう変わるか」のタイトルでご講演を頂きました。

全国的な議会対応として、各種消毒、検温、換気、マスク着用、傍聴の自粛、会期の縮小などがなされました。一般質問を中止した議会もありましたが、九重町議会ではその重要性から工夫をして継続しました。

このような状況から、且つICTが浸透している

現状からも、いろいろな事例を上げながら、これからの議会にデジタル化を推奨されました。

九重町議会ではデジタル化の最中であり心強い講演でした。講師は複数の地方議会のアドバイザーを務めていることもあり、当議会との意見交換にも快諾いただきました。機会を生かして有用なデジタル化を実現したいと思っています。



# 農業委員会との意見交換会

## 〈参加者〉

### 農業委員・最適化推進委員

手島政弘 植山秀明 佐々木清和 飯田祥治朗  
 穴井 勲 仲摩茂敏 矢野三八 時松美智雄  
 田吹博史 田吹正利

### 議 会

麻生良典 岩尾茂樹 大津留敏加 増田裕子  
 佐藤明郎 岐部俊哉

農林課 吉光泰三 若杉美紀

## 意見交換の要旨

### 1 現状の課題

遊休農地対策…令和2年の農地面積2022.7haに対し遊休農地面積52.7ha（2.6%）

1. 高齢化にともなう課題
  - ①耕作放棄地、遊休農地の増加…草刈り作業の負担増
  - ②稲作以外に取り組む意欲減退…ネギやもち麦への取り組みが広がらない
2. 中山間地域での課題
  - ①農振地区の基盤整備以外の圃場整備と取り組み…補助金がない
  - ②農振地区の指定と農地の転用
3. 担い手不足での課題
  - ①農地の集約化ができる地域が少ない…一町歩（1ha）なければ対象にならない

### 2 今後の取り組み

- ①若者を引き付ける魅力や事業の設立…大学等教育施設の誘致、標高差を生かした農業、高原農地のPR
- ②中山間地域での課題解決策について…制度の説明会を開催するとともに、事務についてはサポート協議会を活用する
- ③国や県の補助金事業に取り組む …圃場の整備や事業の広報、普及活動に三位一体で取り組む

# 九重“夢”大吊橋 15周年記念式典

10月30日九重“夢”大吊橋 15周年記念式典が開催され議員が出席しました。漫画家衛藤ヒロユキさん（竹田市出身）の代表作「魔法陣グルグル」のキャラクターが描かれたカラーマンホールを橋の両側に設置。北方エリアには、アートクリエイター、MAKE Y(マーキー)さん（別府市）が鮮やかなチョウの羽をデザインした透明なアクリル板（縦1メートル、横2メートル）を設置。前に立つと、羽が生えたように見える写真を撮ることができ、新しいスポットに観光振興を期待します。

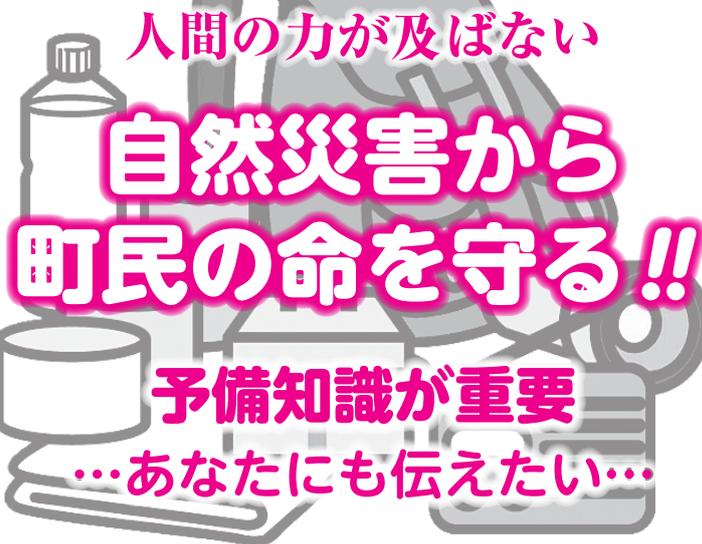


令和2年7月、我が町の豪雨から学ぶ  
災害発生後の無力感を盾に!!

令和2年7月豪雨  
球磨川水害から学ぶ  
講演会に参加しました

伝えたい  
4ポイント

- ① ハザードマップ
- ② 橋の被害
- ③ 時間差被害
- ④ 避難をためらう



### ✓ ハザードマップ

我が町も同様で、各地で被災した現場は、見事にハザードマップで危険箇所と示された地図と一致しています。

各家庭に役場から届いているハザードマップを今一度確認していただくと同時に、可能であれば、周囲の方々と万が一に備え、話し合う場を設けていただければ、マップ作り等、行政も防災士もお手伝いできます。

### ✓ 橋の被害

橋は日常生活を送るうえで、重要なライフラインです。

しかし、建設コスト等の面から、どうしても川の浅いところや、兩岸の距離が短いところに多く存在している傾向にあります。

逆に言えば、水が集中し、水流、水深が増す場所とも言えます。さらに流木等のせき止め等により、被害の原因となりかねません。

このことを知っておくことも必要と思われる。

### ✓ 時間差被害

もう大丈夫、雨が弱くなったり、自己判断で行動し、被災された方が多いとのこと。川の水量はその場の雨量ではなく上流の雨が時間差でやって来ます。土石流や斜面崩壊は、その時の雨量にかかわらず発生します。

### ✓ 避難をためらう

自分は大丈夫、誰の心にもあります。しかし、想像しない災害が多発していることを、私たちも身をもって知りました。

自分の命は、自分で守る。もしも、大変な思いをして避難して、何事も起きなくとも、不安を共にする方がいる安心感、そして、何もなければ無害であったことに対する感謝の心も他人と共有できます。

避難所に行くだけでなく、安全な場所にある知人宅、親戚を頼るのも立派な避難です。みんなで支え合い、ためらわず行動しましょう。

この報告は、議員個人ごとに受講する研修のものが、皆さんに伝えたい内容でしたので、今回特別に掲載しました。

# 町政を質す 一般質問

## 9名の議員が質問

「からだにやさしい町・九重」を掲げて  
町づくりを推し進めては

………… 「人と自然」をテーマに総合計画を作っている



増田 裕子

「からだにやさしい町・九重」という基本軸の下に人を引き寄せ、企業を誘致する町づくりを!

**増田** これからの町づくり構想、「日本一の田舎づくり」に代わるものは何か。

**町長** 第5次総合計画のキャッチコピーを募集し、「人と自然」テーマに素案を作っている。

大吊橋に、町民も楽しめる新たな取り組みを!

**増田** 吊橋に自然と共生型の施設を誘致し、周辺をアスレチックパークにしてはどうか。

**町長** 今後新たな取り組みが必要とは認識している。あらゆる可能性を検討していきたい。

**増田** 町民の無料化や年間パスを導入できないか。

**町長** 町民無料の要望はなく、確認作業等が煩雑になる。現在フリーパスは特別な方にのみ与えており、有料のパス券も現時点では導入する考えはない。

防災無線のデジタル化の進行状況と今後の予定は

**町長** 令和2年度、親卓、中継局等は計画通り完了。令和3年度、屋外拡声子局39局中32局完了している。個別受信機の設置は、東飯田868台中300台設置し、年度内完了予定。来年度は野上、飯田、南山田を10月末までに終える予定である。

**増田** 1世帯1台に限らず、必要な箇所や希望者に配置すべきでは。

**町長** 学校や消防詰所等、必要な箇所には設置する予定。また2台以上等、希望者への配置については、費用負担等を考えている。

若年者のコロナワクチン接種、慎重な対応を!  
コロナ禍の差別を許さない取り組みを!

**増田** 子どもはコロナにかかってもほぼ重症化しないが、ワクチン接種が低年齢化してきているので副反応が心配だ。厚生労働省が定期的に発表している「ワクチンの副反応疑い」で若年者の死亡数等は把握しているか。

**町長** 令和3年12月3日発表(11/14までのデータ)でmRNAワクチン接種後の死亡報告が10代1,258万回の接種に対し5人、20代1,899万回の接種に対し22人。国は「現時点でワクチン接種と因果関係があると判断された事例はない」としている。

**増田** コロナ差別を絶対に許さない取り組みとして、玖珠町のようなポスターを作ってはどうか。

**町長** 検討する。

ストップ! コロナ差別!  
ワクチン接種を受けていない人への差別・偏見・いじめは許されません。



接種を受けることは強制ではなく、感染リスクの低減と副反応のリスクの減弱について理解した上で、自らの意思で接種を受けていただくことになります。そのため、体調や持病などの理由で、新型コロナワクチンを接種しない人、できない人もいます。接種していない人に対して、接種の強制や差別、不利益な取り扱いを行うことのないよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

玖 珠 町

玖珠町はポスターやのぼりをあちこちに掲げている

町政を質す 一般質問

岩尾  
茂樹



文化財の利活用について  
(学校教育や観光資源として文化財を利活用  
できないか。また、すべきではないか)

…… どのように活用できるか考えていきたい

文化財の利活用について

**岩尾** 文化財の種類と件数は。

**教育長** 町指定の建築物や美術工芸品等21件、民俗文化財5件、天然記念物と史跡12件、町選定天然記念物11件、県指定特別保護林1件、県指定文化財15件、国指定文化財3件である。

**岩尾** 維持管理等にかけている年間経費は。

**教育長** 文化財専門員1名の人件費を含め令和2年度は約285万円である。

**岩尾** 保存、維持管理のための経費がほとんどで、展示会等の見てもらう予算も増やすべきではないか。

**教育長** 検討の余地はあるが、必要であればその年その年で予算を確保していきたいと考えている。

**岩尾** 文化財をどのように利活用しているか。

**教育長** 歴史資料館での展示や社会見学の受け入れ、文化財マップを参考に地区独自のウォーキングマップを作成している事例もある。

**岩尾** 昨年の豪雨災害による文化財への被害状況は。

**教育長** 野上石橋群4橋のうち3橋が壁石の崩壊、欄干の損壊・落下・流出、石垣の崩落・流出等の被害を受けている。

**岩尾** 修復には多大な費用がかかると思うが、復旧はどうするのか。

**教育長** 右田井路通水橋については文化財としての復旧は断念し、水路としての復旧を考えている。他の2橋については今後関係者との協議を進めていきたいと考えている。

**岩尾** 今後の利活用についてどう考えているか。

**教育長** 小中学校の授業と連携した歴史資料館の活用や町民の皆さんに文化財のことを知ってもらうことが必要と考えている。様々な課題を整理し具体的な取組みを計画していくことを検討している。

高齢者支援について

**岩尾** 案内板等が少なく場所が分かりにくく、駐車場、通路等が整備されてなく、近づきにくい状況となっている所があるが、観光資源としての環境整備等についてはどのように考えているか。

**教育長** 近くまで行って見ることは非常に大事なことと考えるので、マップの改善等含めどういう風に活用していけるか検討していきたい。

**岩尾** 文化財調査員、まちづくり協議会、地元の方々等に協力してもらい、維持管理や案内をする組織を作ることはできないか。

**教育長** 調査研究はする必要があると考えている。

**岩尾** 石橋に流木が絡み危険との指摘があるがどう考えるか。

**教育長** 防災、文化財の両面から協議していきたいと考えている。



瑞巖寺摩崖仏



菅原の大カヤ

絵画写真等の展示会場について

**岩尾** 絵画、写真等の専用の展示会場は確保できないか。現状をどう認識しているか。

**教育長** 現在専用の施設等はなく確保する予定もないが、文化センターや公民館を利用し多くの絵画等を観覧できる機会を作っていきたいと考えている。

**岩尾** 絵画、写真等は芸術品なので、それにふさわしい展示環境は検討できないか。

**教育長** 公民館等で展示替えをして観る機会を作りたいと考えている。

## 農業で住民の生活が成り立つ 行政施策を検討しているか



大津留 敏加

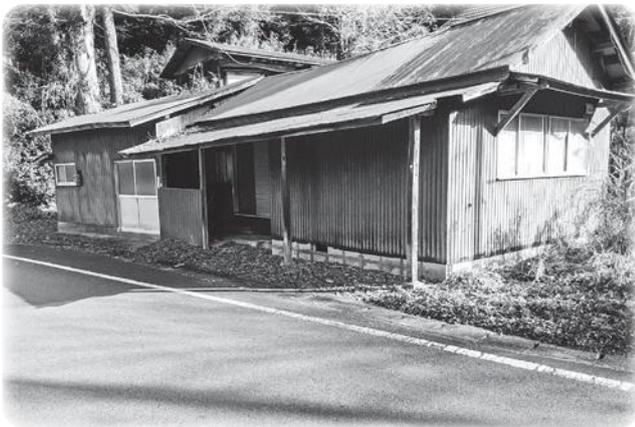
…………… 農産物の一つひとつに付加価値を付け  
ブランド化を進める

**大津留** 農業従事者は、人口減少と高齢化が進み減少している。農業で住民の生活が成り立つ行政施策は。

**町長** 町は、中山間地等の耕作条件の不利な農地が多い。そこで、農産物の一つひとつに付加価値を付けブランド化を進めていきたい。



ブランド化を推進している花卉(カスミ草)



10年以上空き家状態になっている住宅

### 空き家等現状把握について

**大津留** 住居不能の空き家について、住民からの意見調査は出来ているか。

**町長** 町内の空き家は平成25年度末258件の確認ができています。現在、全体の把握はできていない。

**大津留** 危険家屋・建物の実態把握は出来ているか。

**町長** 今年度、消防団に協力いただいて調査を実施している。

### 買い物難民に対する施策は

**大津留** 本年11月、国道210号線沿いにあったスーパーが閉店した、補完措置の検討は。

**町長** 今後、配達を可能とするサービスの在り方や地域での支え合いをはじめ、次期策定する「地域公共交通計画」においても、移動手段確保による買い物支援を意識した検討を進める。



本年11月末閉店した210号線沿いのスーパー

町政を質す 一般質問

麻生  
良典



APU大学を活用しましょう  
学生の受け入れ、学びの場として

…… 現協定では対応は難しい

APU(アジア太平洋大学)の活用  
学生の実習受け入れや就職者の誘引  
大学講義の受講による人材育成

**麻生** APUに2023年度から観光関連学部が開設される。温泉地の実習や地域への就職を目指している。職員の人材育成を目的に受講を計画しては如何か。オンライン受講が可能であれば町民への拡大も考えられる。

**町長** APU含めて県内外で複数の大学と連携協定を結んでいる。短期的や単発的な対応は避けたいため、取り組む事業内容を十分考慮していきたい。



冬の姿もイイね!!

九重版DMO設立に向けた課題

**麻生** 設立検討委員会が設置され2年が経つ。DMO設立に向けた主な課題は何か。

**町長** 委員会は大分銀行、観光協会など10を超す団体代表等で構成されている。現時点での主な課題は次の通りである。

- ・観光協会との差別化や役割分担
- ・DMO機能を担う組織作り

時間を要する課題であり、焦らず着実に進める。

『第五次総合計画』  
計画は町民全員のもので  
継続してチェックを行い  
是非とも達成しましょう

**麻生** 住民とともに作った計画は実行主体である住民と役場のものである。何時でも見ることができて容易に確認できる形が望ましい。

- ・一枚にまとめる。自宅内に貼って見れる
- ・数ページの要約版を作る
- ・厚い冊子は希望者に配布
- ・デジタル版で閲覧可にする
- ・数回の間中チェックをし結果を広報する
- ・町報、CATV、町HP、SNSを活用する

**町長** 町民と共に目的・目標が達成できるよう工夫する。

**麻生** SDGsとどのように関連付けるか。

**町長** 庁舎内ではSDGsを集団学習した。第五次計画は“ひとと自然”がすべての基本になる。環境・社会・経済面をゴールとするSDGsとは密接に関連する。

SDGs(持続可能な開発目標; 2030年に達成)

全ての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、グローバルな諸課題の解決を目指します。

誰一人置き去りにしないために。

## 有効な財源の確保を

…………… 検討課題である



菅原  
美好

### 地熱発電による有効活用を

**菅原** イギリスで、国連気候変動枠組条約、第26回、COP26会議での脱炭素社会で2050年に実質、ゼロの高い目標、再生可能エネルギー導入を加速するなど、エネルギー基本計画を政府が閣議決定した。火力発電依存脱却、地熱、水力、風力、太陽光の自然エネルギーの倍増計画。

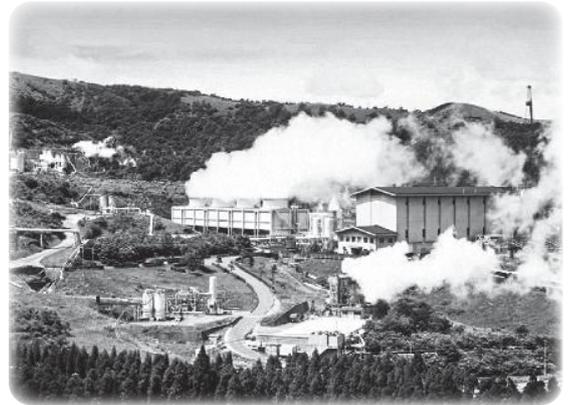
日本の地熱埋蔵量は、アメリカ、インドネシアに次いで世界第3位の2,347万kwあると推定される。地熱はその2%しか利用されていない。本町も有望な地下資源を活用した新たな地熱発電所の建設を推進してはどうか。

町に発電事業検討委員会があるが、何回開催されたのか。

町内にも地熱発電所がある。既存の温泉泉源者等からの苦情は。固定資産税（償却資産）はどの位か。

検討委員会のメンバーや、権限に疑問を感じる。温泉は60m、地熱は300m、泉源が離れていれば、法的に問題はない。事業者が申請に苦慮している。地熱発電の有効活用を図るべきだ。1,000kwの発電で700万円位の固定資産が入る。

**町長** 検討委員会は年4回、通算27回開催している。苦情等はない。固定資産税で7億9,400万円、そのうち償却資産4億6,900万円（発電関係が2億6,200万円）。



九重町HPより：八丁原発電所

### 米軍による演習は

**菅原** 米軍による日出生台演習は、22年前、沖縄の負担軽減を目的に、本土（5カ所）で実施されることになった。地元の不安を解消する目的で、県、由布市、玖珠町、九重町の四者協を設置、「日出生台演習場の米軍使用に関する協定書」が締結されている。治安や財政支援など5項目ある。今まで何回実施したか、また、実施されると、SACO予算（おもいやり）で協力金が交付される。その額は、トラブル（不祥事）等は。今現状として、世界や日本周辺は、韓国、北朝鮮、中国など、竹島問題、尖閣諸島、台湾有事など、危険な状況だ。四者協の立場、活動内容が複雑で理解されていない。米軍の日出生台演習は必要。今一度、皆で考える時期だ。

**町長** これまで14回実施され、SACO予算として、8,100万円が交付されている。訓練中に指揮官が不在になるなどトラブルはあった。



2020年2月の米軍訓練見学の様子

# 町政を質す 一般質問

佐藤 明郎



## 人づくりなくして町づくりなし 志高くとも取り組み見えず

…… しっかり検証し、今後活かす

### 人口減少に伴う 地域・集落活動の維持

**佐藤** 町が示したとおり、人口減少に伴い、地域活動が厳しさを増す中で行政の方針を改めて伺う。

**町長** 行政にも支援の限界がある。まちづくり協議会などを中心に、自助・共助を発揮することが重要。

### 町や地域を守るため 人材育成に注力すべきでは

**佐藤** 町が主張する「人づくりなしに町づくりなし」全く同感である。町の将来、自助共助に人材育成は不可欠と考える。しかし、再三の指摘にも対策が見えない。体制的にも社会教育を充実させるべきだ。

**教育長** 担当職員間の定期的な研修を行い、課題の共有を行い、スムーズな解決を図っている。

**佐藤** 令和元年度に行った「町民人権アンケート」に対する取組をはじめ、様々な事業に対する評価報告のあり方も、町民のための施策に役立っているのか。

**教育長** 指摘の「事業の点検評価」のあり方については、内部からも改善の声が出ている。アンケートの活用についても、有効に活用していく。いずれにせよ、しっかりとした報告をしたい。



くらサボ東、有志による農道清掃



青少年健全育成  
子ども達の門松作り

### 交流人口を増やすため 小規模遊休農地を活用できないか

**佐藤** 町の将来を考えたとき、自主財源の増を目指すことも重要であり、有効な手段として、交流人口（町外の人を呼び込む）を増やすことも考えられている。

移住促進、観光面とは別の視点で、本町の大きな課題である、遊休農地を逆手にとって、福岡などの都市部の方に、家庭菜園的に利用していただき、定期的に来町していただければ、町民との交流、観光PRも兼ね、遊休農地も有効な資源となり得ると考えるが、可能性について伺いたい。

**町長** 以前にも、この件についての意見をいただいた。他の自治体を調査したところ、農地をファミリー農園に指定して、広く利用者を募っているという事例も実際にある。

今後、先進的な事例をさらに調査研究し、具体的な制度化に向けて検討していきたい。

## “町の人口減少をどう考えているか”



佐藤 博美

…………… 協働のまちづくりで小さくとも  
存続するよう頑張りたい

**佐藤** 10年前に1万421人、現在8,939人、国勢調査では8,541人、2040年には5,800人台になるという予想よりも上回るペースで人口減少が進んでいる。九重町に住みたいけれど住む家がない。家を建てたいけれど土地がない。そんな声を聞き、幾度となく九重町に住みたい人が住める住宅政策をとって来た。町としての人口減少に対してどう考えている。

**町長** 九重町だけでなく、日本全体が少子化による急速な人口減少、そして高齢化という未曾有の危機に直面している。人口減少カーブを緩やかにする施策として、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた施策を展開していく。また、地域の繋がりや絆を大切に、自助、共助、公助の精神で協働のまちづくりを推進して小さい町でありつつも持続可能な町として存続するよう頑張っていきたい。

## 買い物弱者対策 どう対応する

**佐藤** 今年11月から野上地区で本当に商店が無くなった。将来的には九重町全地区でそういうことが起きるのではと心配されている。私は今回議員に出るときに、九重町の拠点となる道の駅を作りたいと出たが、話が進まない中で野上地区、独り暮らしの人や高齢者の買い物弱者の人達をどう支えていく。

福岡市で移動販売の人が販売と兼ねて高齢者や独り暮らしの人達の安否確認を、都会で暮らす家族から一部の負担をしてもらいながら行っている。

このことも今後検討してほしい。

## 今後計画を立て、しっかりやっていきたい

**町長** 現時点では民間の移動販売に頼っているが、今後配達を可能とするサービスの在り方、そして、地域での支え合いの中でもサポートできるようしっかり推進していきたい。

## ふるさと納税 なぜ増えない

<b>佐藤</b> 国東	23億 3 千万円
臼杵	7 億 1 千万円
日出	7 億 1 千万円
杵築	6 億 8 千万円
佐伯	6 億円
日田	5 億 4 千万円
竹田	5 億円
由布	1 億 1 千万円
九重	9 千万円

(令和2年度実績)  
(1千万円未満切捨)

九重町も少しずつは増えてはいるが他の市町から見ると差が大きい。役場の企画調整課での対応では無理がある。委託等も考える時では。

## 登録返礼品の増加、効果的な宣伝で

**町長** 今後増加に向けて、登録返礼品の増加、体験型や九重町ならではのユニークな商品を開発し、効果的な宣伝をやっていききたい。



# 町政を質す 一般質問

岐部  
俊哉



## 町有林の新たな活用方法と社会教育士の採用・育成をどのように考えているのか

…… 町有林は今後5年間で前向きに検討、社会教育主事研修の希望者を募る

### 令和の時代を生きる! 第11弾 「人づくり」は「町づくり」

#### 町有林の新たな活用

**岐部** 下記の5つの根拠を基に町有林伐採後の再植時に広葉樹であるイタヤカエデを中心に、落葉樹ではブナやクスギ、常緑樹ではシイを植えてはどうか。

##### 1 何故イタヤカエデなのか

バイオリンやピアノの鍵盤の資材となり、木材に付加価値がある。また、樹液を採取してメープルシロップを生成・販売し、事業を起こし雇用を生む。更に、源流地域として水源を守る森づくりをし、未来を生きる子ども達へ誇れる森を残す。

##### 2 メープルシロップが事業になるのか

市場ではカナダのケベック州が世界の73%のシェアを握る独占市場である。しかし、今年11月末に石油同様戦略メープルシロップ備蓄を23,000トン放出した。理由は近年の気候変動による生産量の減少とそれに相反して売上高21%増ということがあげられる。販売価格の例を挙げる。

外国産…カナダ…1ℓ約3,000円

国産…100ml7,600円(山形) 1ℓでは76,000円

ふるさと納税返礼品としても活用できる



出展:青少年旅行村(驚きの森)HPより  
シロップだけでなく煮詰めるとメープルシュガーにもなる

##### 3 資材としての価値があるのか

見た目が美しく粘りのある硬い材質が特徴。家具・

内装材にはじまり食器やスポーツ器具(スキーやバット)更に楽器(バイオリンやピアノの鍵盤や木琴)にも使われ、国産材が非常に少ない。

##### 4 広葉樹の廃材の活用方法はあるのか

国の第5次環境基本計画(2018.4月閣議決定)に示される地域循環共生圏構想には都市部と農村部の相互循環共生構想が示されている。それぞれの地域の強みと弱みを補完することが構想の基本的方向性である。また、エネルギーの地産地消でもバイオマス利用のバイナリー発電への取り組みに可能性が広がる。再エネ設備導入事業化計画策定についても国の補助金が準備されている。

##### 5 針葉樹の方が広葉樹よりCO<sub>2</sub>の吸収量が多い

樹の葉面積から針葉樹の方が広葉樹よりもCO<sub>2</sub>の吸収量は多い。しかし、木材価格の低迷で針葉樹の伐採が伐期を過ぎて放置している状況では、明らかに針葉樹林の二酸化炭素吸収量は減少している。更に生物多様性の保全の観点からみると天然林や広葉樹林の森が無くなれば、そこに住むイノシシやシカの餌が無くなり平地で農作物に被害を与える。この点でも広葉樹林の森づくりは大切な意味を持つ。

**町長** 町有林は今後5年間で計画的に整備していく。その中でしっかりと検討する。

#### 社会教育士の採用・育成

**岐部** 社会教育主事の資格者の活用はできているのか。

**教育長** 7名の有資格者がいるが、活用できていない。

**岐部** 地域での息の長い活動ができる社会教育士の採用・育成に取り組めないか。

**教育長** 先ず社会教育主事研修の受講希望者を募る。

## ネットワークコミュニティの考えは (複数集落での補い合い)

……………積極的にアプローチしていく



野上 香代子

### 家庭ごみについて

**野上** 年間排出される家庭ごみの量と推移は。

**町長** 昨年度の事業系を含めたごみ総排出量は2,175t(家庭系は1,500t弱)。2011年は2,529t。一昨年まで2,500t前後で推移している。



**野上** ごみの分別状況は。

**町長** 可燃、不燃1.2.3、資源ごみとなっている。

**野上** 回収不能のごみの量は。

**町長** 収集場所で分別ができておらず回収不能となるのは、年間で50袋くらいである。(業者聞き取り)

**野上** 資源ごみの回収量は。

**町長** 紙類120t スチール容器50t アルミ容器26t ガラス容器52t ダンボール25t ペットボトル20t 発泡スチロール3t 蛍光管、電池3tである。

**野上** リサイクルの取り組みは。

**町長** 回収ごみのリサイクル率は昨年12.7%それ以前は7%であったので上昇している。

**野上** ごみの分別収集を細分化して資源化する方策は。無料化の考えは。

**町長** 細分化については、回収体制や住民負担について考慮する必要がある。

ごみ袋は手数料であり、ごみは有料化でごみの減少にもなると考える。引き続き有料でお願いしたい。今後、分別の徹底や紙類等の資源化の啓発を強化していく。



### 小規模集落について

**野上** 九重町の小規模集落の数は。

**町長** 令和3年3月末現在、140行政区中40行政区が小規模集落である。10年前は8行政区、5年前は23行政区で増加傾向である。

**野上** 小規模集落の困りごとの把握は。

**町長** 若者が少ない、鳥獣被害が多くなった、共同作業が難しくなった、役員のなり手がいない、等がある。

**野上** 小規模集落応援隊の周知、推進の考えは。

**町長** 県と連携して推進、周知を行う。

**野上** 複数集落で補い合う「ネットワークコミュニティ」の考えは。

**町長** ネットワークコミュニティ推進枠の補助事業も活用し積極的にアプローチしていく。



応援隊と一緒に作業

### 昨年の豪雨災害復旧状況について

**野上** 家屋、河川、道路、農地の復旧状況は。

**町長** R2年災害では河川、町道において全体の入札率78% 契約率54% 完成率18%である。農地については契約率19% 完成率3%である。令和3年度災害については、査定件数で道路1件、河川3件、農地12件となっている。

農地小災害についてはR2年、繰越し46件、完成34件、未完了12件である。

R3年は45件で申請済み37件、完了8件となっている。

# あたしのひとこと

## 人と人との繋がり

野上 中央四

江口 香織さん



私は、今、三児の母として子育てに奮闘中です。出身は熊本で、ご縁があつて九重町に嫁いできました。新しい環境でのスタートは、人間関係や仕事など不安だらけでした。そんな不安も人や環境に恵まれ安心へと変わり、最近では子ども達と一緒に、地域のふれあい食堂に遊びに出掛けたりもしています。いろんな年代の人たちとゲームをしたり、地産地消の手作りご飯を食べたり。子ども達の笑顔、地域の高齢者の方の笑顔、そして私もそんな光景を見て笑顔がこぼれます。人と人が繋がる

と人を笑顔にして、信頼関係が築けます。田舎の小さい町だからこその利点を活かしてこれからも地域づくりに参加していきたいと思っています。

現在は、泉水キャンプ村で、予約や受付・場内の案内などの仕事に携わっています。お客様とのやり取りの中で仕事へのやりがいや元気をもらえます。「子どもがグーグルマップで検索してここを見つめました！」

「泉水の露天風呂が大好きでいつも利用しています！」「雪景色を見ながらのキャンプが最高です！」皆様それぞれの思いをもって訪れています。そんなキャンプ場が九重町にあるのはとても素晴らしい事です。「九重町の素敵」の一つにぜひお越しください。



泉水キャンプ場の様子

## 気分リフレッシュ！ 飯田高原に来て来て

飯田 下野

吉岡 佐起さん



仕事の疲れや日々のストレス、人間関係など、気分がすぐれず憂鬱になったりすることはありませんか、そんな時、皆さんはどうやって立ち直りますか。

たとえば、思い切り運動し、限界まで体を動かし汗を流す。私は飯田高原に来て、大自然の中、青空を見渡して、美術館の作品に出会い、また、動物と触れ合い癒されました。私は動物好きであります。

飯田高原に住みたく、エル・ランチョ・グランデ牧

場に就職しました。調べてみると九州の屋根というべき名峰連なる10余りの九重山群に囲まれ、雄大な草原では、黒沢監督の映画「乱」の撮影された場所でもあります。

「乱」の撮影ではエル・ランチョ・グランデの馬が使用されたと聞き感動しました。ゆったり浸かる温泉郷、タデ原湿原を散策すると心が癒されました。飯田高原に遊びに来ませんか。



草原のウマ



第12回

南山田



こども食堂での楽しいふれあい

地区リレー

東飯田



つーだら・だっだ文化展  
—作品の前で表彰式—



### 嬉しいお知らせ

ご意見を頂きました。

- ★町民生活がよくなる報告記事を期待している
- ★難しい文面は注釈をつける等工夫してほしい等の提案です。

早速、議員全員に伝え改善して参ります。

ご意見ありがとうございました。

議会だよりについて  
ご意見をお聞かせください。  
【議会事務局：76-3814】

令和4年1月17日

発行／九重町議会 編集／議会広報特別委員会

〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1

☎ 0973-76-3814 ・ FAX 0973-76-3809

メール(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp

広報委員長 野上香代子  
 副委員長 土井眞一郎  
 委員 佐藤博美  
 委員 大津留敏加  
 委員 麻生良典  
 委員 岐部俊哉

漢字一文字で一年を表すとはいかにも無謀であるが、およそ四半世紀の間、師走の国民的行事となつている。漢字本家の中国や台湾それにシンガポール等にも波及している。

昨年は「金」でオリンピックの年に確率高く選ばれる。希にみる僅差の二位は「輪」で五輪と世相の掛け合わせだろう。

皆既日食の時に見る事ができる太陽の周りの光がコロナで「光冠、光環」という。世の中を席卷しているコロナの名前の由来である。

金と光、輪と冠や環。偶然の類似であろうが、これまでのような混乱や不安は、「金輪際」ご免こうむりたいものである。

麻生 良典

編集後記